

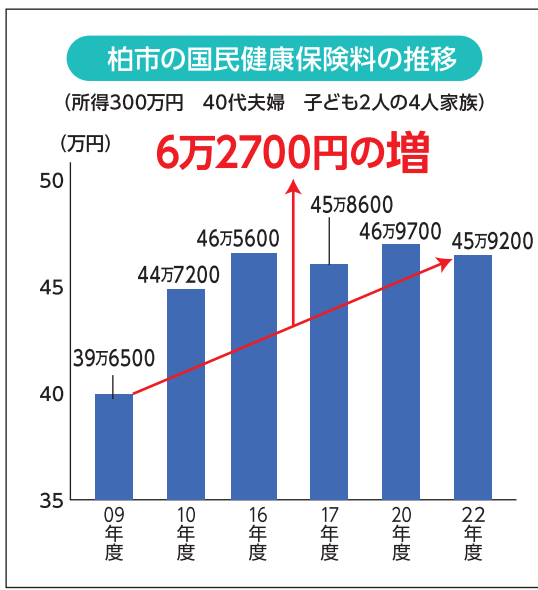
物価高騰のなか値上げは困る

国保会計への繰り入れ復活を

10月から75歳以上の後期高齢者の医療費窓口負担が、一定以上の収入がある人（※）は1割から2割に引き上げられました。

「物価高騰対策として暮らしを守るため」の給付金を出しているのに、一方で医療費や保険料を値上げする。何を考えているんだ——怒りの声が寄せられています。

柏市の国民健康保険料の値上げも懸念されます。柏市の国保料は、10年間でグラフのように大幅に値上げされました。新年度



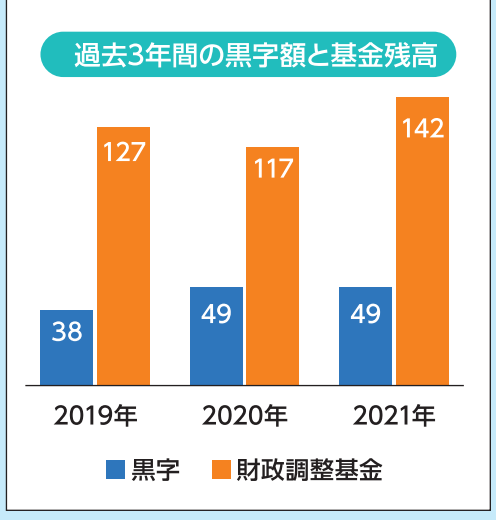
「先生がこない」 深刻！教員不足

「先生が産休に入ったり病気で休んでも代わりの先生が来ない」——教員不足は柏市でも年々深刻さを増しています。今年度

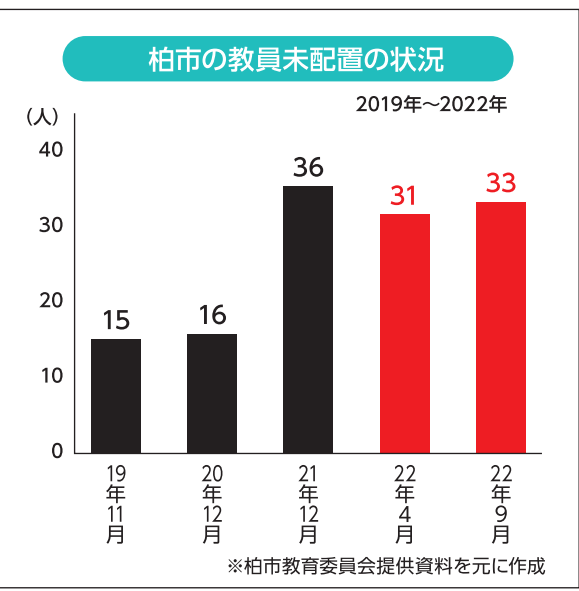
柏市決算49億円の黒字、基金142億円

2021年度の柏市の決算が示されました。一般会計では前年と同額の49億円の黒字で、何にでも使える財政調整基金も25億円増え142億円となっています。

この基金は「災害など不測の事態に備えるため」のもの。この3年間の新型コロナと物価高騰は「災害級」の困難を市民にもたらしています。この時期に予算を使い残り貯金を増やしている状況は異常です。いまこそ市民の暮らしを支えるため積極的に使うべきです。



※年金収入+その他の合計所得金額が1人暮らしの場合200万円以上、2人世帯の場合合計320万円以上



は4月初めから31人もの欠員＝未配置で9月1日には33人に増え、1校で2人、3人の教員未配置という学校が6校もありました。

9月議会でも教員未配置をなくす対策を求めました。日本共産党は千葉県に対し、「教員採用試験の募集人員を大幅に増やし、年度当初から正規教員をきちんと確保すること」を求めています。柏市教育委員会もそれが必要と考えていると答弁しました。

学校現場の異常事態を解決するため市民のみなさんと一緒に取り組んでいきます。

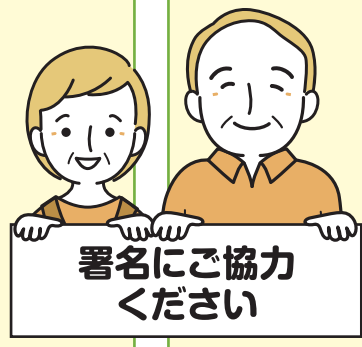
地球温暖化対策 積極的に推進を

柏市はことしの4月から千葉県の制度変更に合わせて、柏市太陽光発電補助金事業を廃止しました。8月末までは県の太陽光パネル等の「共同購入」制度が行われていましたが、それ以降、支援事業はまったくない状況です。地球温暖化対策を積極的に進めるのであれば、柏市独自の事業を行うべきです。議会質問の中で市は、来年「柏市地球温暖化対策計画」を見直すなかで補助金制度を検討すると答弁しました。

補聴器の購入費補助制度 消極的な柏市

日本共産党は9月議会で、柏市として購入費助成を実施することに加え、難聴の早期発見のため特定健診に聴力検査を導入するよう国に求めよと質問。柏市は「健診については機会をとらえて国に要望する。購入費助成は国が行うべき」と消極的な姿勢です。急速に高齢化が進むなか助成する自治体が年々増えています。

柏市での早期実現を粘り強く求めます。



コミバス・シルバーパス 早期実現を

来年1月から運行予定の柏駅・市役所・保健所を結ぶバスは、柏駅→図書館→市役所→文化会館→保健所の往復ルートで、1時間に2本程度、運賃は160円から180円とすると示されました。

市役所・保健所までのバスルート新設は大きな前進です。日本共産党は市内全域にコミュニティーバスを走らせること、料金は100円にすること、高齢者が既存のバスに安く乗れるシルバーパスを早期に実現することなど、引き続き取り組んでいきます。

シルバーパスについては「堺市や尼崎市を視察した。なるべく早く導入したい」と答弁がありました。

署名実施中!

署名実施中!